

麦づくり情報 第1号

令和3年(2021年)1月20日
佐賀県農業試験研究センター
佐賀県米麦改良協会

◎農試作況試験における麦類の生育(1月20日調査)

品種	播種期 (月/日)	年次	出芽期 (月/日)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢 (L)	概況
シロガネコムギ	11/20	本年	11/30	10.1	512	4.6	[気象] 11月20日～1月19日まで ◆平均気温…平年より0.3℃低い ◆日照時間…長い(平年比113%) ◆降水量……少ない(平年比37%) [生育] 本年の生育を平年値と比較すると、 ◆出芽期 11/20播種「シロガネコムギ」の出芽期は2日早く、他は4～7日遅い。 ◆草丈 12/10播種「シロガネコムギ」ではやや高く、他は低い。 ◆茎数 11/20播種「シロガネコムギ」では多い。 12/10播種では、小麦、大麦とも少ない(分けつが発生していない)。 ◆葉齢 全ての区で0.3～1.1葉遅い。
		平年	12/2	13.1	433	4.9	
		平年差(比)	-2	77	118	-0.3	
	12/10	本年	1/4	8.0	149	1.6	
		平年	12/31	7.6	163	2.3	
		平年差(比)	+4	105	91	-0.7	
サチホゴールデン	12/1	本年	12/25	8.8	188	2.3	
	12/10	本年	1/6	7.3	149	1.2	
		平年	12/31	8.3	184	2.3	
		平年差(比)	+6	88	81	-1.1	
はるか二条	12/1	本年	12/24	7.0	190	2.2	
	12/10	本年	1/5	7.0	149	1.3	
		平年	12/29	8.4	260	2.0	
		平年差(比)	+7	83	57	-0.7	
留意点	◆播種時期にあたる11月中下旬以降は、11/19(37mm/日)の降雨後、12/24(9.5mm/日)まで降雨がなく、圃場が乾燥状態で推移した。特に12/10播種では、圃場が乾いてからの播種となったことから、出芽期が遅れた。 ◆12月から1月2半旬の気温は平年並～低く、12月4半旬や1月2半旬には最低気温が1℃を下回り、生育は全体的に遅れている。 ◆追肥は生育状況をみながら適切(葉齢3～4葉期頃)に行う。 ◆分けつの発生を促進するため、3葉期以降に麦踏を実施する。ただし、圃場の土壌水分が高い場合、土が締まり湿害を助長するため、必ず乾いた状態で行う。 ◆除草剤を散布していても、雑草の発生が散見される圃場では、早めに茎葉処理剤を施用する。なお、麦踏前後の除草剤散布は、薬害を生じることがあるので避けること。 ◆5葉期になったら、雑草防除と排水対策のために土入れを行う。						

注1)「サチホゴールデン」および「はるか二条」の12/1播種は、今年産から実施のため、本年値のみを記載。

2)「シロガネコムギ」、12/10播種「サチホゴールデン」の平年値は、過去7ヶ年の内、最高と最低を除いた5ヶ年の平均である

3)12/10播種「はるか二条」の平年値は、H30-R2年産の3ヶ年の平均である。

4)苗立数は11/20播種で120本/㎡、12/1及び12/10播種で150本/㎡に設定。

5)施肥量(基肥-追肥-追肥)は窒素成分量で「シロガネコムギ」:5.5-4.5-4.0、「サチホゴールデン」:6.0-4.0-2.0、「はるか二条」:6.0-4.0-4.0

2021年産 麦作期間気象図 アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当

